NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

信頼と安心をあなたのもとへ



日本コンセプト株式会社
決算説明会資料

2017年2月28日

東証二部（9386）

１．会社概要

２．2016年度決算

３．財務ハイライト

1-1　CORPORATE PROFILE

■ 会社概要

社　　名	日本コンセプト株式会社
設　　立	1994年1月6日
所　在　地	東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル 8階
代表取締役社長	松元　孝義
資　本　金	6億44万円 （2016年12月末時点）
上 場 市 場	東京証券取引所 市場第二部 (証券コード　9386)
単元株式数	100株
決　算　期	12月
子 会 社 数	6社
従 業 員 数	164名 （連結、2016年12月末時点）



1-2　CORPORATE HISTORY

■ 会社沿革

2017

■ **2月3日 国内7番目の拠点となる 京葉臨海支店 開設**

■ **9月2日 東京証券取引所 市場第二部に市場変更**

2016

■ 水島支店・水島営業所を開設

■ 中部支店・中部営業所を開設

2015

■ ＪＡＳＤＡＱに上場

■ アメリカにNIPPON CONCEPT AMERICA,LLC.を設立

2013

2012

■ マレーシアにNIPPON CONCEPT MALAYSIA SDN.BHD.を設立

■ イギリスにNICHICON UK LIMITED.を設立

2002

2001

■ シンガポールにNIPPON CONCEPT SINGAPORE PTE.LTD.を設立

1998

■ 新潟出張所・徳山支店を開設

■ オランダにNICHICON EUROPE B.V.を設立

1996

■ 京浜支店・神戸支店を開設

1994

■ 日本コンセプト株式会社設立

１．会社概要

２．2016年度決算

３．財務ハイライト

2-1　2016年度決算　連結損益計算書

（単位：百万円）

科　　目	第 22 期 平成27年1月1日～ 平成27年12月31日		第23期 平成28年1月1日～ 平成28年12月31日		増　減 金 額	 率
売上高	**11,001**		**10,494**		**△506**	△4.6%
売上原価	**7,604**		**7,475**		**△128**	△1.7%
売上総利益 (率)	**3,397**	(30.9%)	**3,019**	(28.8%)	**△378**	△11.1%
販売費及び一般管理費	**1,285**		**1,302**		**17**	1.3%
営業利益 (率)	**2,111**	(19.2%)	**1,716**	(16.4%)	**△395**	△18.7%
営業外収益	129		30		△99	△76.5%
営業外費用	258		163		△94	△36.5%
経常利益 (率)	**1,983**	(18.0%)	**1,583**	(15.1%)	△400	△20.2%
特別利益	—		2		2	–
特別損失	4		7		4	83.3%
税金等調整前当期純利益 (率)	**1,979**	(18.0%)	**1,578**	(15.0%)	△401	△20.3%
法人税等	678		498		△179	△26.5%
当期純利益 (率)	**1,300**	(11.8%)	**1,079**	(10.3%)	**△221**	△17.0%

2-2　2016年度決算　連結貸借対照表

（単位：百万円）

科　　目	第 22 期（平成27年12月31日）	第 23期（平成28年12月31日）	増減 金額	増減 率
【資産の部】				
流動資産	4,147	3,922	△225	△5.4%
現金及び預金	2,531	2,569	38	1.5%
売掛金	1,203	1,177	△26	△2.2%
その他	414	176	△238	△57.5%
貸倒引当金	△1	△1	1	△48.3%
固定資産	10,822	10,897	74	0.7%
有形固定資産	10,600	10,637	37	0.3%
建物及び構築物　（純額）	894	883	△10	△1.2%
タンクコンテナ（純額）	7,521	7,098	△422	△5.6%
土地	1,898	2,195	297	15.6%
その他（純額）	285	458	172	60.5%
無形固定資産	96	138	41	43.0%
投資その他の資産	126	121	△4	△3.4%
繰延資産	1	0	△0	△92.7%
資産合計	14,971	14,819	△151	△1.0%

科　　目	第 22 期（平成27年12月31日）	第 23期（平成28年12月31日）	増減 金額	増減 率
【負債の部】				
流動負債	3,256	2,884	△372	△11.4%
買掛金	770	772	2	0.4%
短期借入金	64	120	56	87.5%
1年内返済予定の長期借入金	1,306	1,191	△114	△8.8%
1年内償還予定の社債	70	30	△40	△57.1%
リース債務	254	267	13	5.2%
未払法人税等	405	167	△237	△58.6%
賞与引当金	24	24	0	2.5%
その他	362	309	△52	△14.5%
固定負債	5,359	4,892	△467	△8.7%
社債	30	－	△30	△100.0%
長期借入金	3,621	3,258	△363	△10.0%
リース債務	1,503	1,473	△29	△2.0%
退職給付に係る負債	84	92	8	9.8%
その他	119	67	△52	△43.8%
負債合計	8,616	7,777	△839	△9.7%
【純資産の部】				
株主資本	6,283	7,022	739	11.8%
資本金	600	600	－	－
資本剰余金	526	526	－	－
利益剰余金	5,156	5,896	739	14.3%
自己株式	△0	△0	－	－
その他の包括利益累計額	72	20	△51	△72.0%
純資産合計	6,355	7,042	687	10.8%
負債純資産合計	14,971	14,819	△151	△1.0%

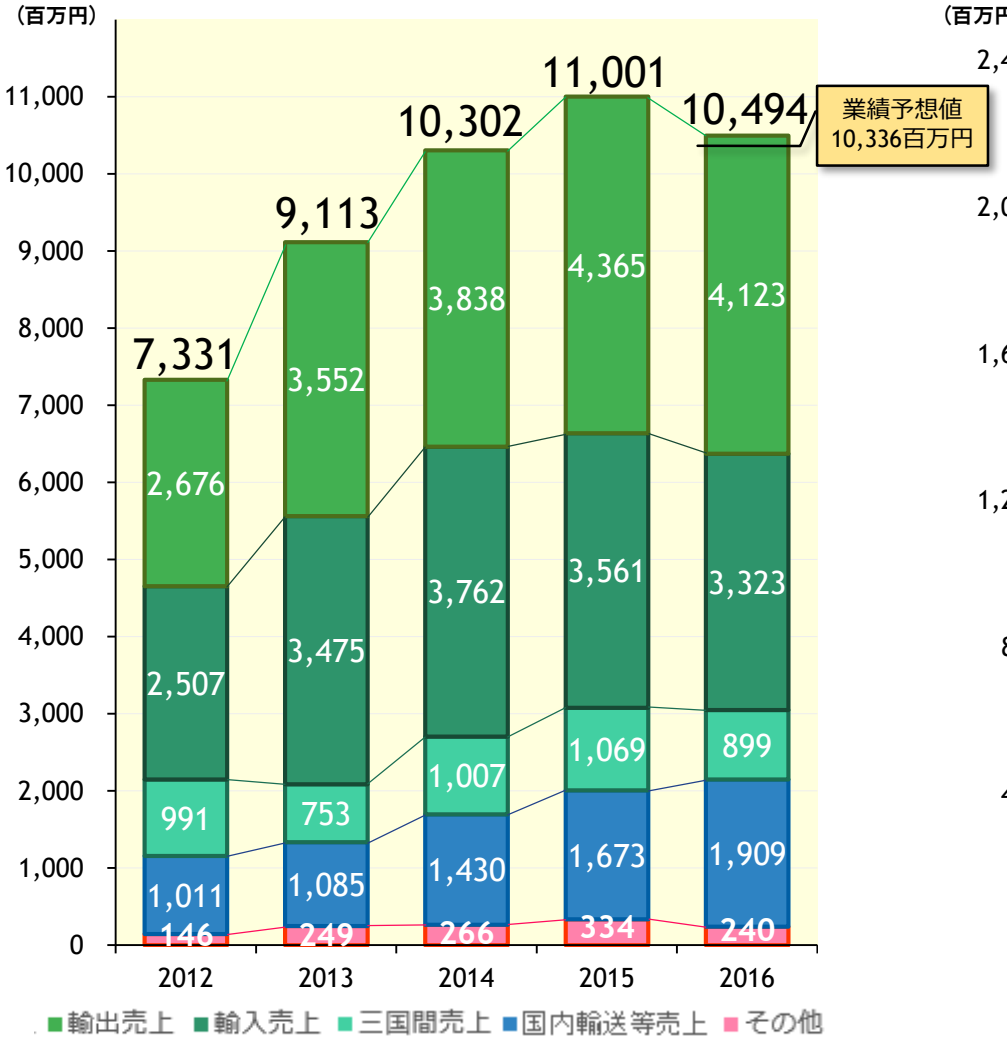
１．会社概要

２．2016年度決算

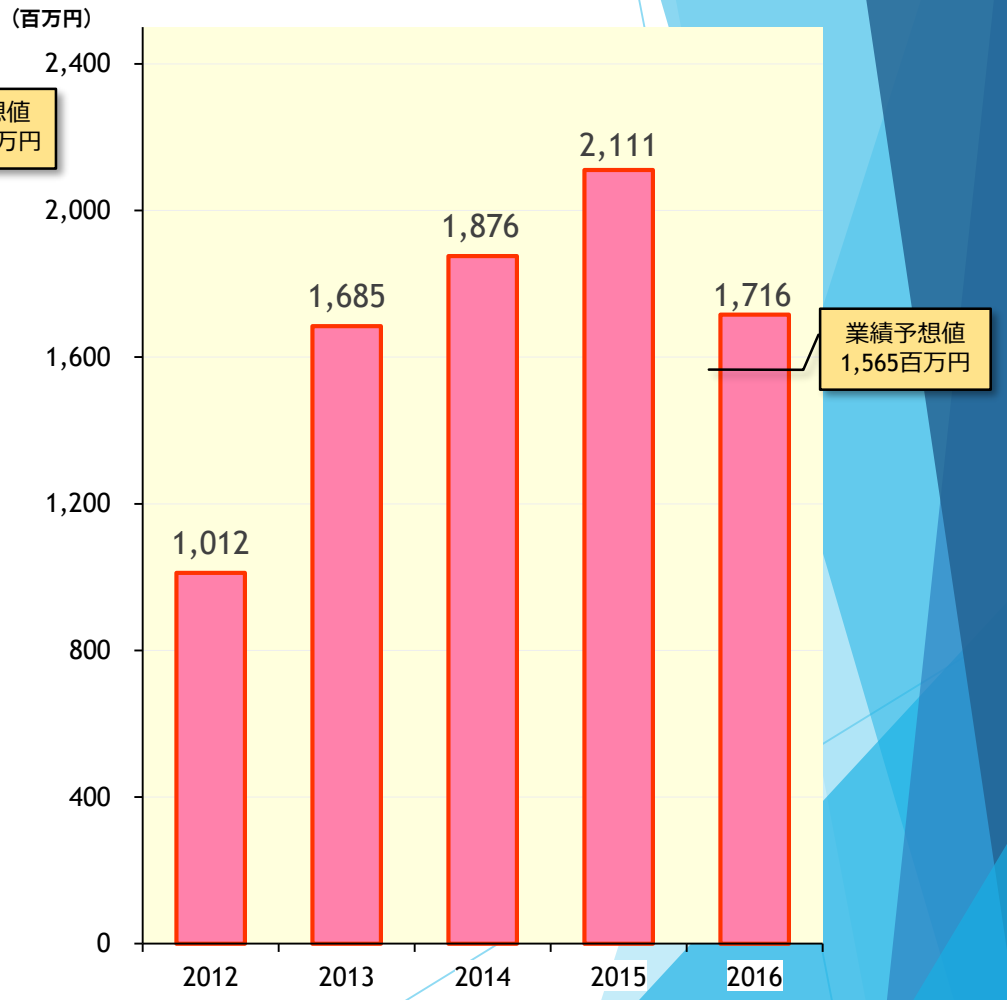
３．財務ハイライト

3-1　財務ハイライト（収益関連①）

【 売 上 高 】

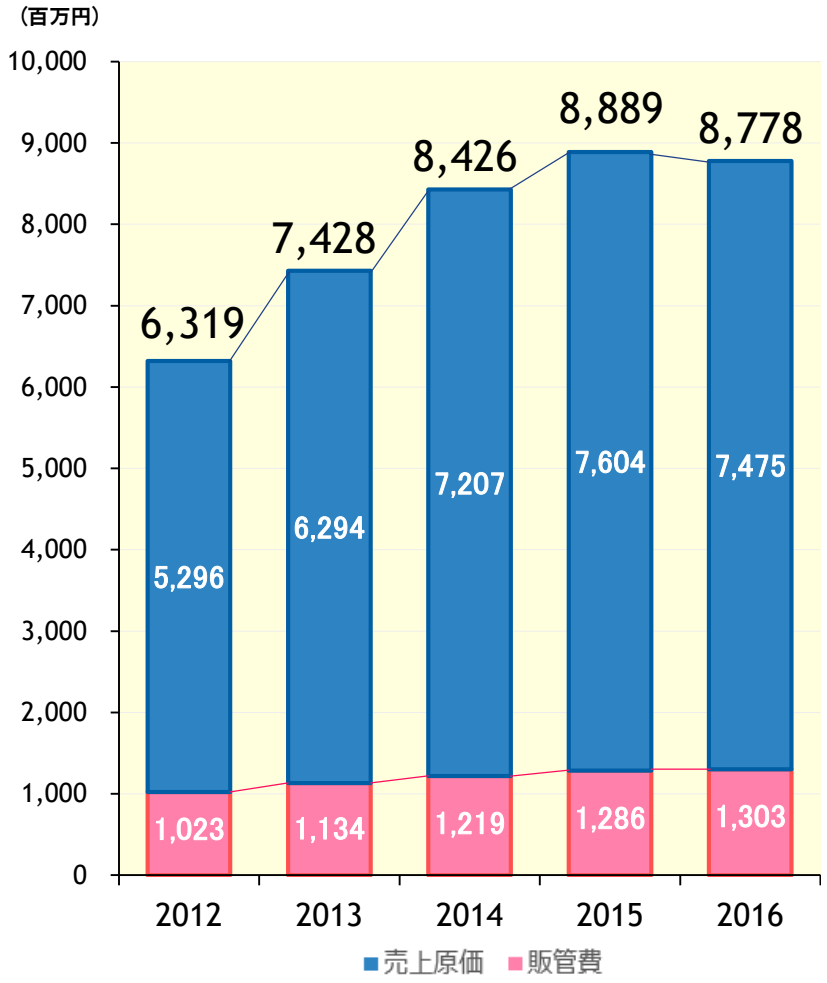


【 営 業 利 益 】

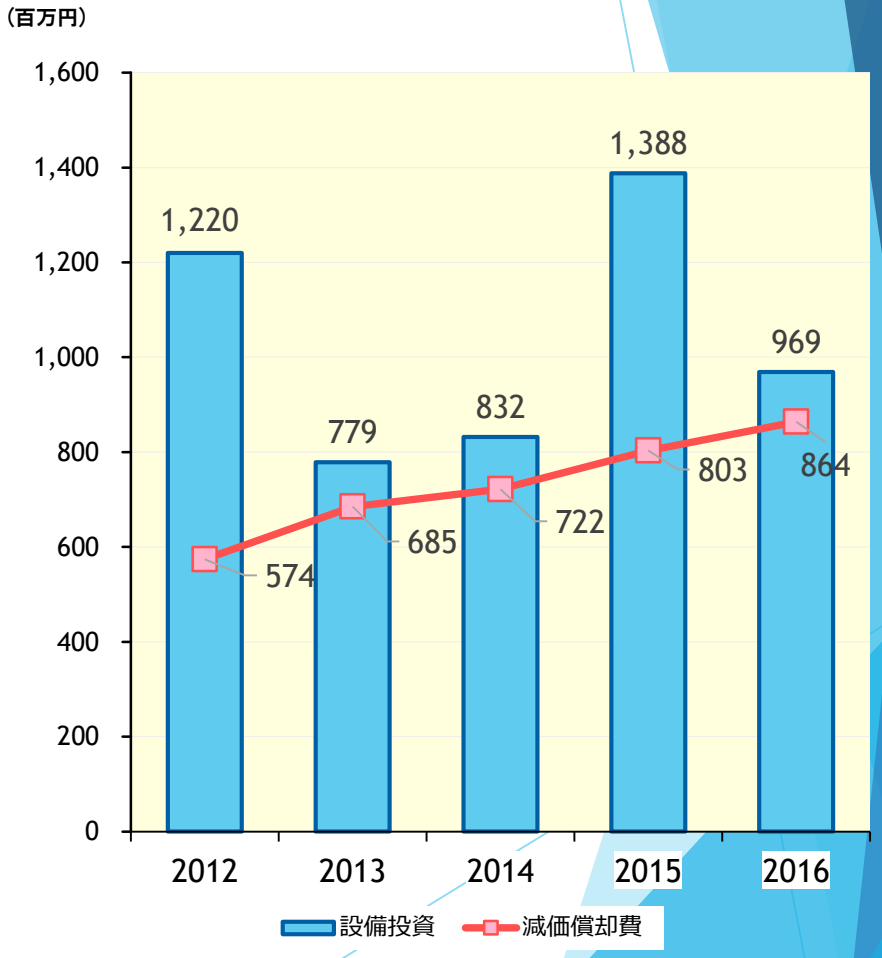


3-2　財務ハイライト（収益関連②）

【　売上原価・販管費　】

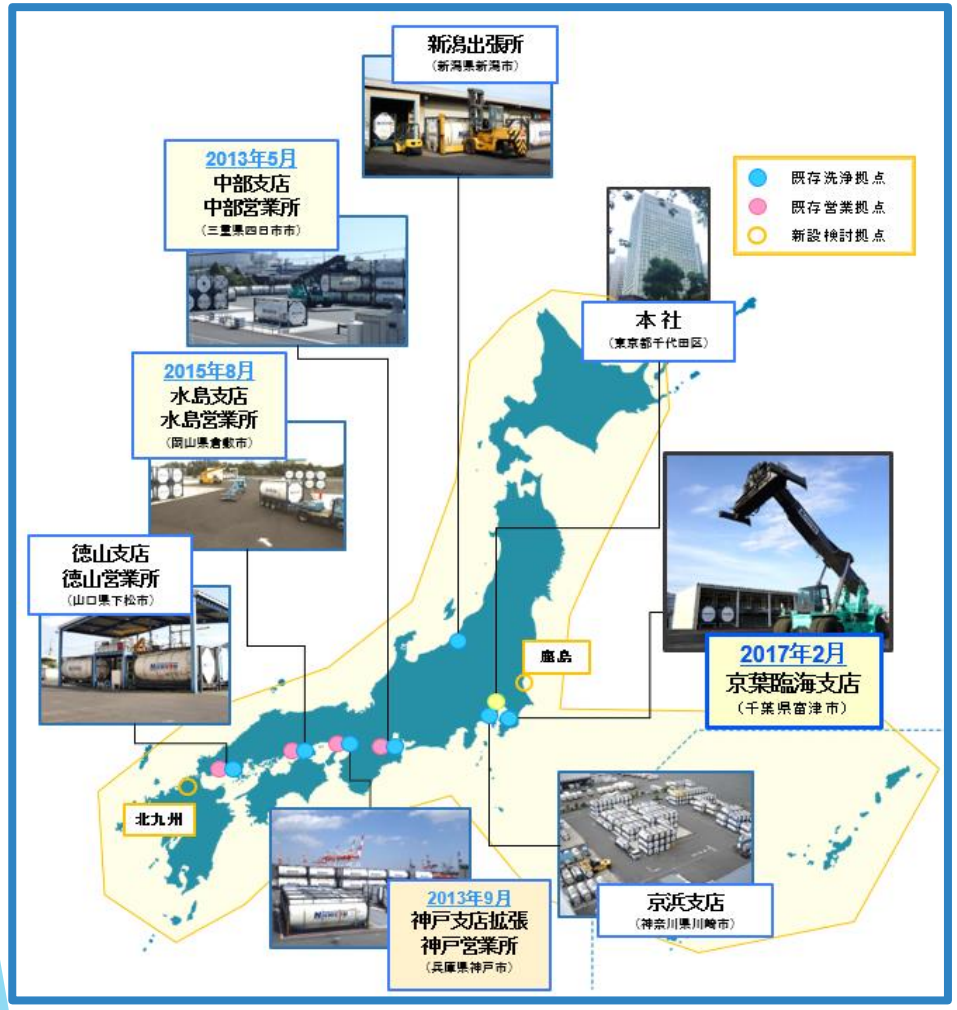


【　設備投資・減価償却費　】



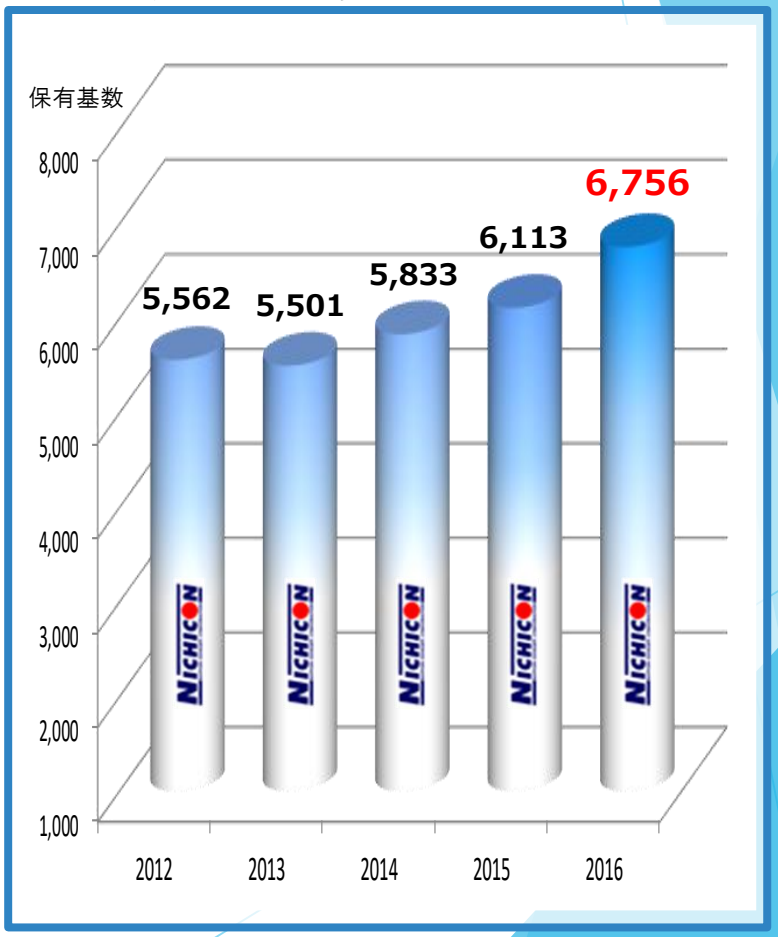
3-3　財務ハイライト（設備投資関連）

支店網の活用による輸送量の大型化推進



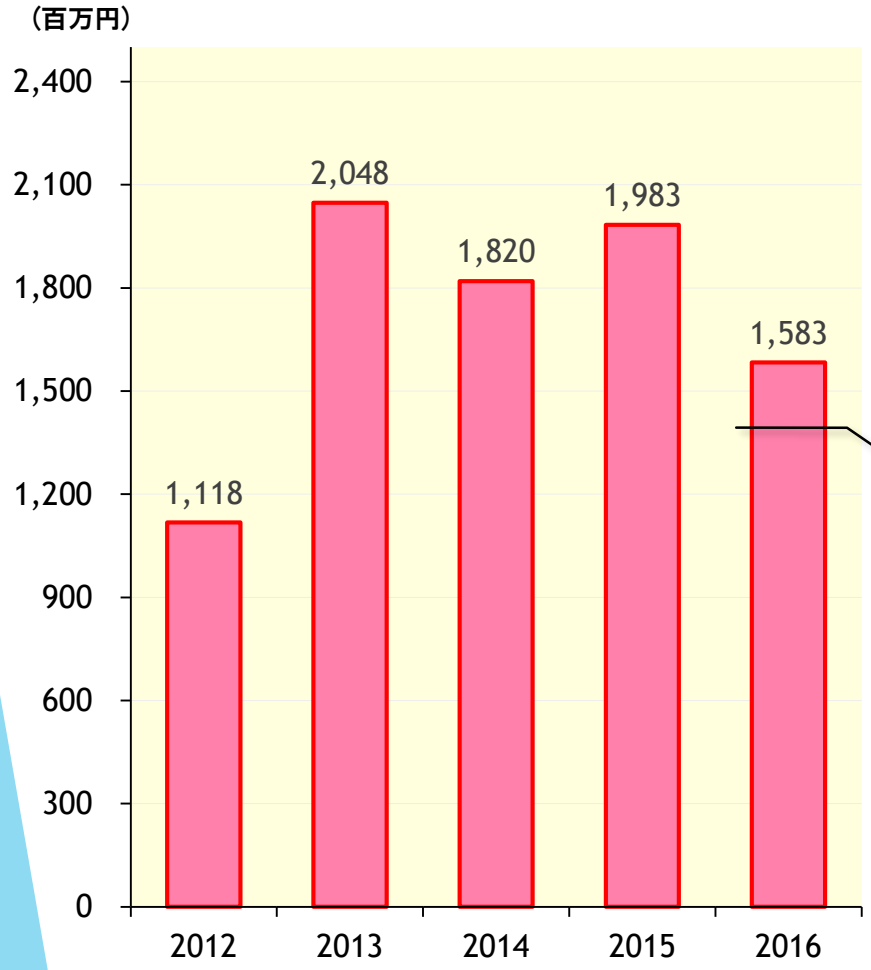
競争力の強化に向けた保有基数の増大

稼働率を意識しつつ、輸送ボリュームの増加に見合った着実な増量を目指す

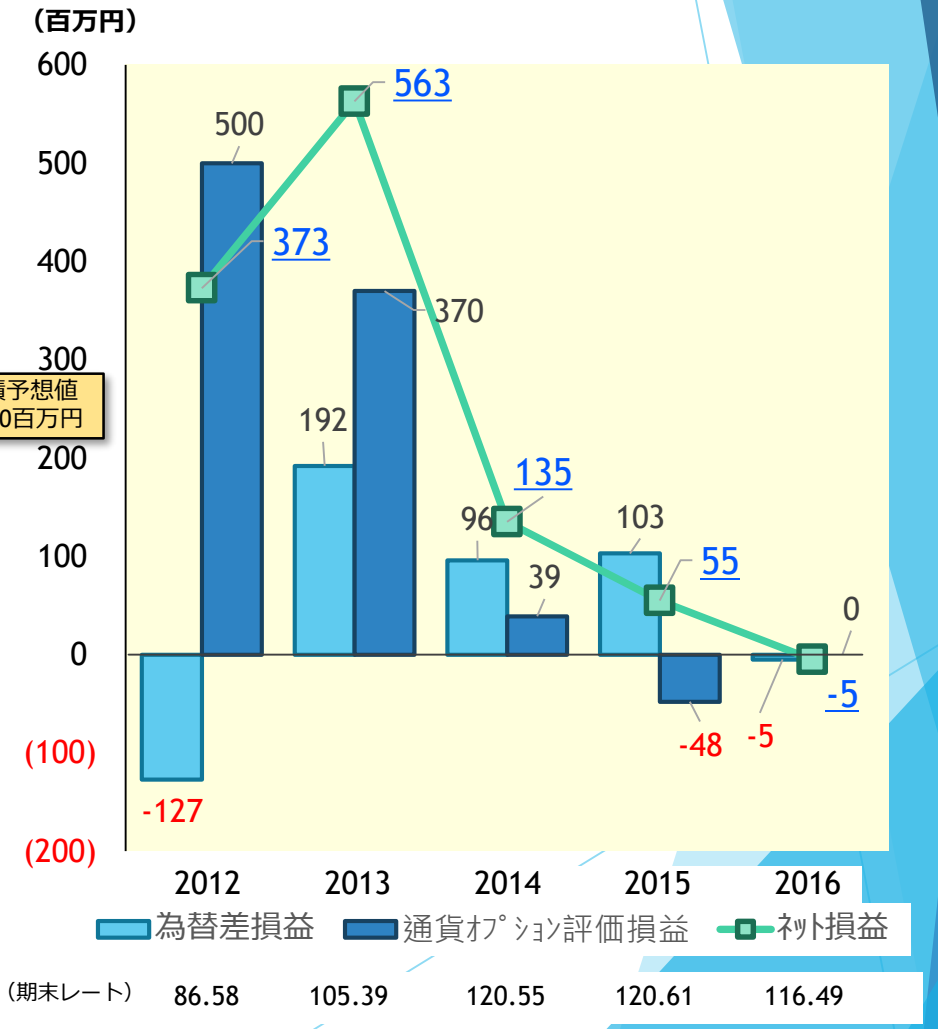


3-4　財務ハイライト（収益関連③）

【 経 常 利 益 】

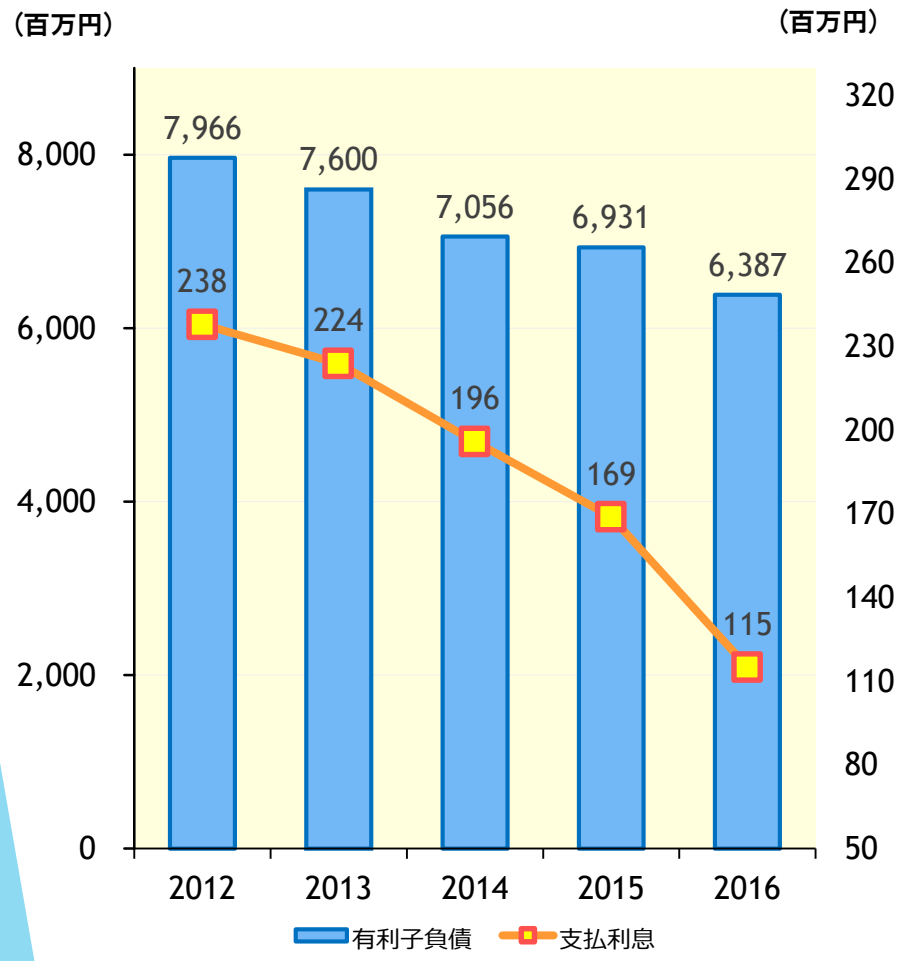


【 為替差損益・通貨ｵﾌﾟｼｮﾝ評価損益 】

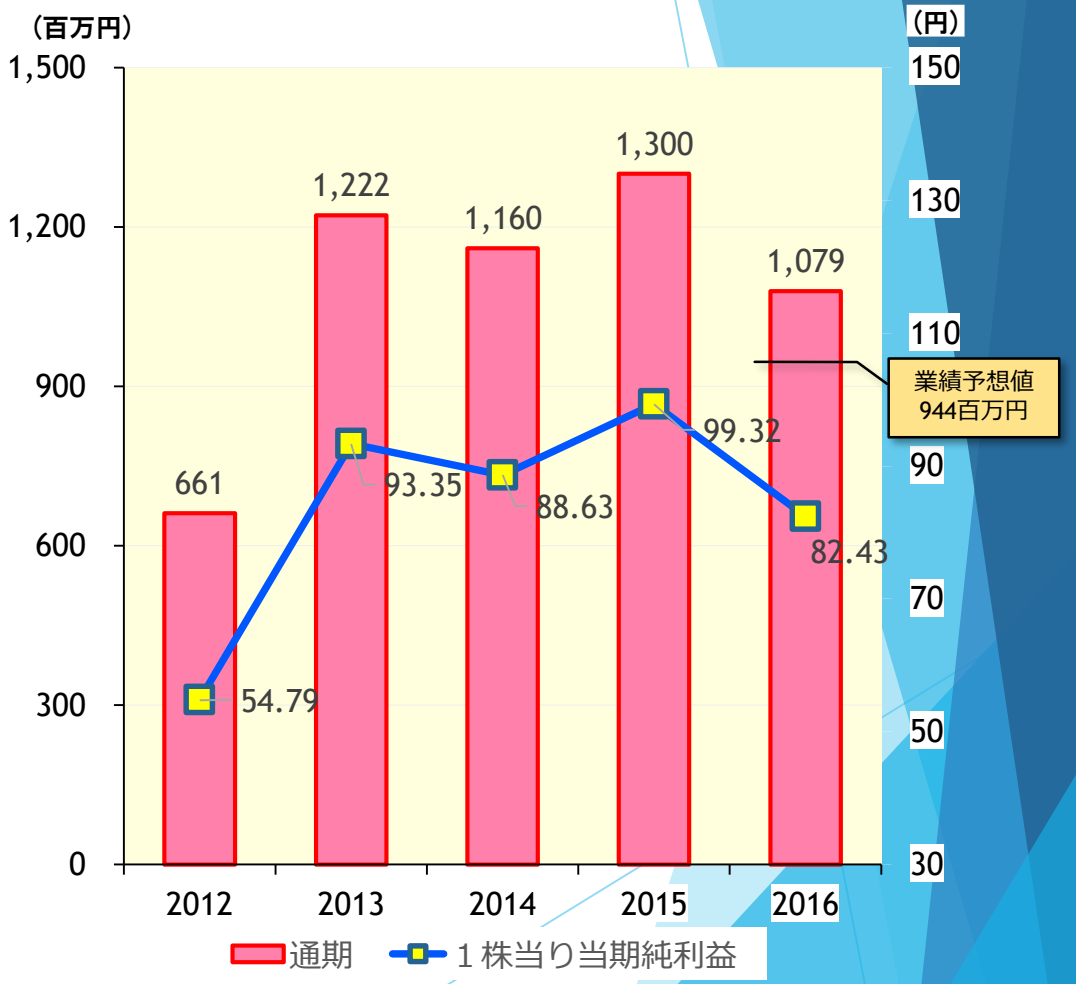


3-5　財務ハイライト（収益関連④）

【 有利子負債・支払利息 】



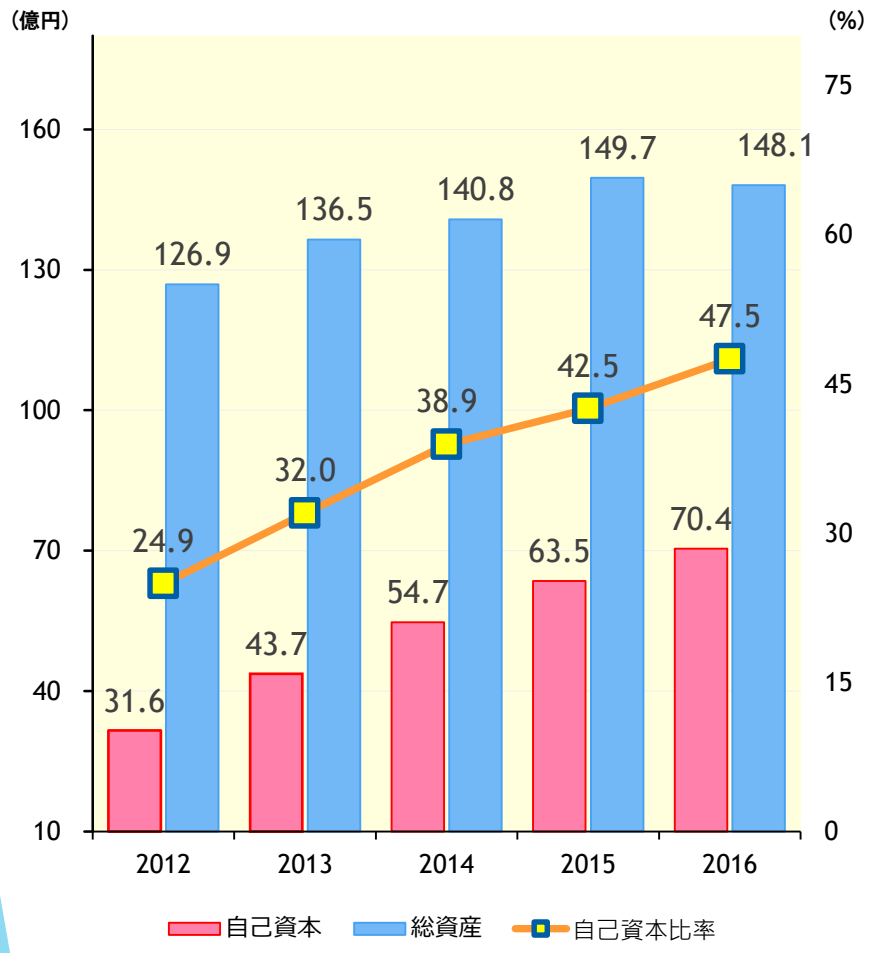
【 当期純利益 】 【 １株当たり当期純利益 】※



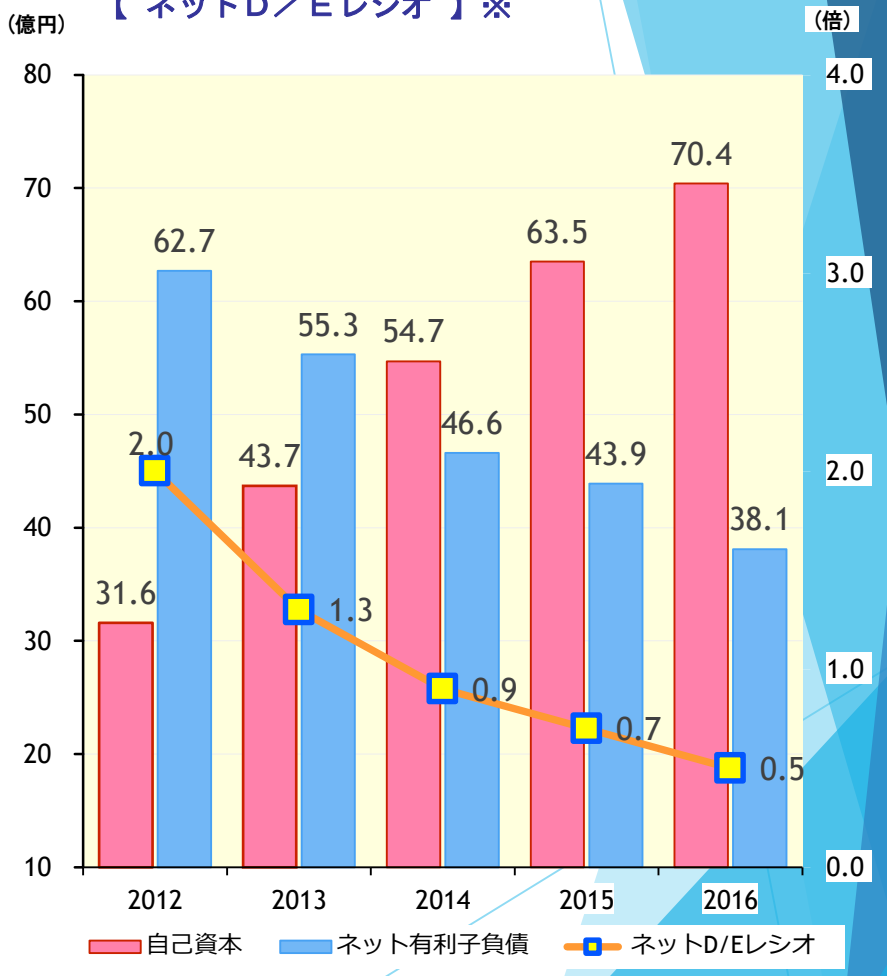
※ 当社は2012年6月19日付で普通株式１株につき1,000株の割合で、2015年10月１日付で普通株式１株につき３株の割合で株式分割を行っておりますが、2012年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、１株当たり当期純利益を算出しております。

3-6　財務ハイライト（財務指標①）

【 自 己 資 本 比 率 】



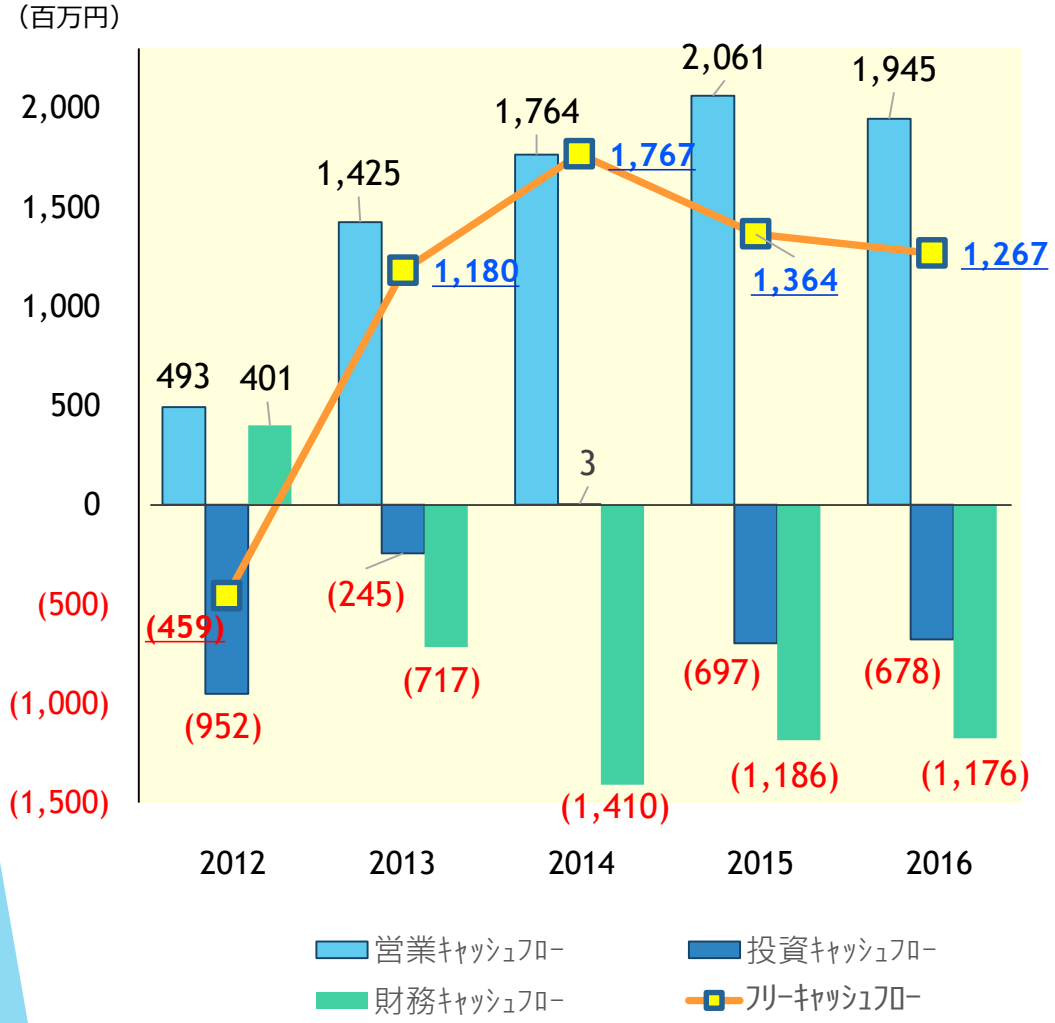
【 ネットD／Eレシオ 】※



※　ネットD/Eレシオ（倍）　＝　（ 有利子負債 － 現預金 ）÷ 自己資本
・・・ 長期の支払能力（安全性）をはかる指標

3-7　財務ハイライト（財務指標②）

【 キャッシュフロー 】



≪ デリバティブ解約損について ≫

当社は固定金利での資金調達を原則としており、長期に亘る資金を調達する場合の金利変動リスクを回避するため、金利スワップを締結することがあります。

2015年12月期及び2016年12月期においては過去に調達した長期資金のリファイナンスを行うことにより、将来の支払利息の削減を図りましたが、金利スワップの期日前解約が必要となるものがありました。

借入金利が現在の市場金利より大幅に高いため金利スワップの期日前解約に費用が発生し、デリバティブ解約損を計上したものです。

なお、信用力の向上に伴い、当社に対する貸出スプレッドが大きく減少したことから、リファイナンス後の支払利息とデリバティブ解約損の合計額は、リファイナンス前の支払利息額を下回っております。

【参考】国際複合一貫輸送の概要解説

標準的な国際複合一貫輸送取引

出荷元 日本 → 陸上輸送（トラック） → 通関 → 海上輸送 → 通関 → 全区間トラック / トラック＋鉄　道＋トラック / トラック＋内航船＋トラック → 納入先 スイス

Door To Doorの国際複合一貫輸送

さまざまな輸送手段・ルートから、最適な組み合わせをアレンジ

ドライコンテナと同規格であるため、
あらゆる地域でトラックや鉄道、内航船など様々な輸送手段の利用が可能









